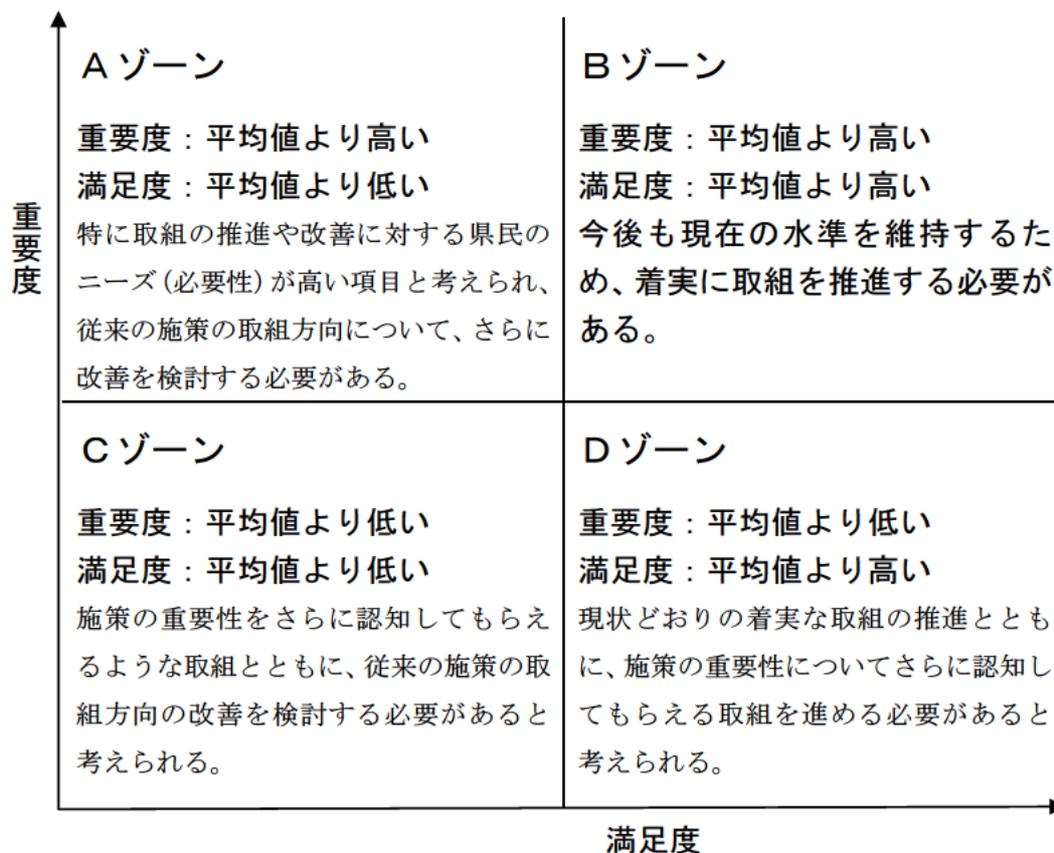


2. 重要度、満足度について

(1) 重要度、満足度のプロット図について

重要度を縦軸に、満足度を横軸にとって44項目の回答結果をプロットした。

44項目の重要度と満足度のそれぞれの平均値（重要度県平均値1.36、満足度県平均値-0.17）によって分けられた4つのグループについて以下のように分類している。



(2) 重要度と満足度の算出方法について

各分野の取組の重要意識及び満足意識の各選択肢に得点をつけ、平均得点を算出している。選択肢に重みをつけることにより、回答者の重要意識・満足意識を総合的に反映した、より深い分析が可能となる。

この結果を基に44項目の重要度・満足度の現状や、重要度と満足度の関係等を分析する。なお、地域別や認知状況による違い等を分析する際、県全体や他地域との比較を分かりやすくするため、ゾーン分けは県全体の平均ラインを用い、参考として図中に地域の重要度、満足度の平均ラインを点線で示している。

$$\text{「重要(満足)」} \times 2 + \text{「どちらかといえば重要(満足)」} + \text{「どちらかといえば重要ではない(不満)」} \times (-1) + \text{「重要ではない(不満)」} \times (-2)$$

重要度 = $\frac{\text{重要(満足)} \times 2 + \text{どちらかといえば重要(満足)} + \text{どちらかといえば重要ではない(不満)} \times (-1) + \text{重要ではない(不満)} \times (-2)}{\text{「わからない」、「無回答」を除く有効回答者数}}$

得点配分

重要度	満足度	ポイント
重 要	満 足	+ 2
どちらかといえば重要	どちらかといえば満足	+ 1
どちらともいえない	どちらともいえない	± 0
どちらかといえば重要でない	どちらかといえば不満	- 1
重要でない	不 満	- 2